



CHARM

報道関係各位

PRESS RELEASE

2021年2月17日

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

**介護付有料老人ホームを運営するチャームケアと東北大学の産学連携の取り組み
認知症改善プロジェクト 第3回 オンライン「チャーム・カレッジ」を
2月26日（金）開催決定！**



監修：
東北大学特任教授
村田裕之先生

首都圏・近畿圏を中心に介護付有料老人ホームを運営する株式会社チャーム・ケア・コーポレーション（本社：大阪府大阪市 / 代表取締役会長 兼 社長：下村隆彦 / 以下チャームケア）は、東北大学 村田裕之先生監修による「認知症改善プロジェクト」の一環として第3回オンライン「チャーム・カレッジ」を2021年2月26日（金）に開催いたします。

第2回オンライン「チャーム・カレッジ」では村田裕之先生より「知っているようで知らない新型コロナウイルス対策」をテーマに講義いただき、大変好評を得ています。3回目の開催となる今回は、再び村田裕之先生をお招きして「スマート・エイジング：健康で自立して生活するために（1）」をテーマに講義と参加者との意見交換を行い、コロナ渦で外出機会の減りがちなご入居者様やそのご家族様の健康維持・向上を支援します。

<第3回オンライン「チャーム・カレッジ」開催概要>

日 程：2021年2月26日（金）

時 間：15：00～16：00

会 場：オンライン開催（「ZOOM」を活用したインターネット配信）

定 員：限定30名様

講演テーマ（予定）

「スマート・エイジング：健康で自立して生活するために（1）」

1. なぜ、いまスマート・エイジングなのか？
2. 有酸素運動をする
3. 筋トレをする

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション 広報・ブランド推進課 担当：小原・瀧野・正置
TEL：03-6419-3360 FAX：03-6419-3370 MAIL：pr@charmcc.jp



村田 裕之 先生

東北大学特任教授
スマート・エイジング学際重点研究センター
企画開発部門長
感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点メンバー
東北大学ナレッジキャスト常務取締役

東北大学特任教授、スマート・エイジング学際重点研究センター企画開発部門長、感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点メンバー、東北大学ナレッジキャスト常務取締役。日本のシニアビジネス分野のバイオニアとして多くの民間企業の新商品・サービス開発を支援。2006年スマート・エイジングのコンセプトを提唱し、センター設立に参画、日本発の対認知症非薬物療法「学習療法」の米国導入を実現した。高齢社会研究の第一人者として講演、新聞・雑誌への執筆、著書も多数。高齢化の国際情勢にも詳しく、海外諸国より頻繁に講演者として招聘される。2018年5月Asia Pacific Eldercare Innovation Awardsにより優れた業績を上げた人としてGLOBAL AGEING INFLUENCERSに選ばれた。

【主な著書】

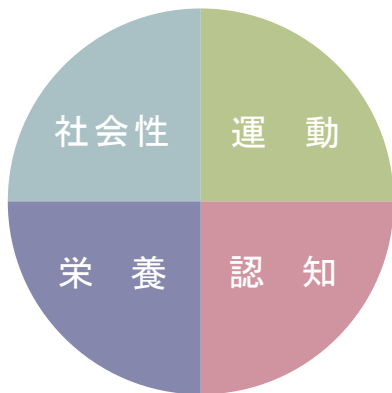
主な著書に「スマート・エイジング 人生100年時代を生き抜く10の秘訣」（徳間書店）、「親が70歳を過ぎたら読む本」（ダイヤモンド社）、「スマート・エイジングという生き方」（川島隆太教授との共著、扶桑社）、「どうする？親の家の片づけ」（PHP研究所）、など

東北大学が提唱するスマート・エイジング（Smart-Aging）とは？

- ・ 定義：エイジングによる経年変化に賢く対処し、個人・社会が知的に成熟すること。
- ・ 個人は、時間の経過とともに、たとえ高齢期になっても人間として成長でき、より賢くなれる、社会はより賢明で持続的な構造に進化することを意味します。

参考文献：川島隆太・村田裕之共著「スマート・エイジングという生き方」

スマート・エイジングのための4条件



1. 身体を動かす習慣
2. 脳を使う習慣
3. バランスのとれた栄養習慣
4. 人と積極的に関わる習慣

■ 会社概要

名称：株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション
 所在地：大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館19階
 代表者：代表取締役会長 兼 社長 下村 隆彦
 事業内容： 「介護付有料老人ホーム」及び「住宅型有料老人ホーム」の運営ほか

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション 広報・ブランド推進課 担当：小原・瀧野・正置
 TEL：03-6419-3360 FAX：03-6419-3370 MAIL：pr@charmcc.jp